





日立 ふろ自動給湯型 電気温水器




セミオートタイプ 工事説明書

据付場所	形式	貯湯量	満水時 質量	ヒーター 容量	ドレン パン
屋外用	BE-A37FWU (高圧力型)	370 L	約 433kg	4.4kW	不付*
	BE-A46FWU (高圧力型)	460 L	約 533kg	5.4kW	
	BE-A56FWU (高圧力型)	560 L	約 644kg	6.4kW	
屋内用	BE-A37FWUM (高圧力型)	370 L	約 433kg	4.4kW	内蔵
	BE-A46FWUM (高圧力型)	460 L	約 533kg	5.4kW	
	BE-A56FWUM (高圧力型)	560 L	約 644kg	6.4kW	

- 形式の末尾に「M」がつく機種（受注生産）の場合は、ドレンパンが「内蔵」となります。また、漏水検知機能がついています。（漏水検知機能：漏水を検知すると、給水をストップする機能）
- 事業者の方が設置される場合
当該機器は労働安全衛生法施行令に定める小型ボイラーに該当します。このため、事業者の方が設置される場合は、所轄の労働基準監督署へ設置届の提出が義務付けられております。

安全上のご注意

 警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」 内容です。	
	<ul style="list-style-type: none"> ●アース工事(D種設置工事)を必ず行う。 工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規定」に従って、電気工事士が行う。 (感電、故障の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の近くにガス類や引火物を置かないでください。 (発火の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ●漏電遮断器の動作を確認してください。 (万一の不動作で、感電、故障の原因になります。) ●シャワー給湯には、必ずサーモスタット式の逆止弁付混合水栓を使用する。 万一の機器の故障時に、やけどのおそれがあります。

 注意 「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害 の発生が想定される」内容です。	
	<ul style="list-style-type: none"> ●防水処理、排水処理をしていない床面に設置しない。 万一の漏水のときに大きな被害をおよぼすおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●凍結防止対策を行ってください。 (凍結による故障の原因になります。) ●電気温水器本体の脚3か所を必ずアンカーボルトで固定する。 (地震などにより、転倒してけがをするおそれがあります。) ●電気温水器本体の上部を付属の転倒防止金具で固定する。 (地震などにより、転倒してけがをするおそれがあります。) ●壁面へのねじ固定は、ねじが壁面のラス網等と電氣的に絶縁した状態で行う。 電氣的に絶縁しないと、発熱して火災の原因になることがあります。 ●水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。 また、塩分、石灰分、その他不純物が使用水に含まれていたり、酸性水質の地域では電気温水器の使用を避けてください。特に、井戸水、地下水、温泉水では機器の故障のおそれがありますので使用できません。 ●以下の場所には設置しない。 <ul style="list-style-type: none"> ●塩害地（海浜地区で潮風が直接あたる場所） ●最低気温が-10℃以下となる場所

1. 据付けおよび付帯工事をされる方へ

- 製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。工事の前に「安全上のご注意」を必ずお読みになり、本書の記載事項を守って工事を行ってください。
- 据付工事および付帯工事は必ず専門の工事業者により行ってください。
- 据付後は、本書を保証書・取扱説明書と共にお客さまにお渡しし、保管していただくよう依頼してください。また、最寄りの電力会社の営業所に【電気温水器の据付完了】の連絡をしてください。
- 工事説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を使用せず工事された場合の事故や故障については責任を負いかねます。
- この製品はリモコン（同梱品）を接続しないと動作しません。必ずリモコンを接続して使用してください。
- 浴室では、やけど防止のため、サーモスタット付き混合水栓を必ず使用してください。
- 給湯栓には必ず逆止弁付き混合水栓（現地準備品）を使用してください。
- 適用最大浴槽サイズは540Lです。また、ふろ接続は一ヶ所のみです。二ヶ所以上の接続はできません。
- ガス機器から電気温水器へ変更する際は、事前にガス業者への連絡が必要になります。ガス業者への連絡をせずに無断撤去することは、法令により規制されておりますのでご注意ください。

【お願い】

- 製品本体は吊り上げないでください。
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。

2. 関連部品

部 品 名	必 要 数	形 式	備 考
リモコンコード2芯10m	台所リモコン、ふろリモコン それぞれにいずれかを各1	BERC-10M2	-
リモコンコード2芯15m		BERC-15M2	-
リモコンコード2芯25m		BERC-25M2	-
ふろ接続アダプター（L曲がり）	いずれか 1	BEAD-SL	高温遮断装置付
ふろ接続アダプター（ストレート）		BSAD-L	-
		BEAD-SS	高温遮断装置付
		BSAD-S	-
アース棒	1※	BEA-1	-
脚部後方差込金具	必要に応じ1	BEM-3S	-

※アース棒は取付けをおすすめする部品です。

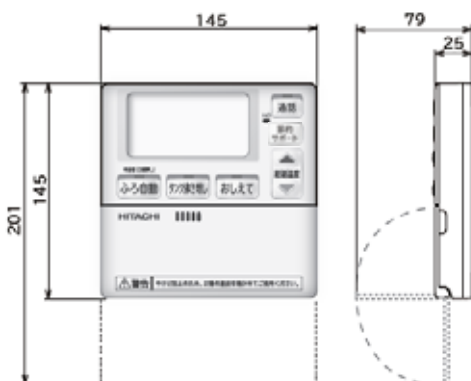
3. 同梱付属品

本体には、下記の部品・付属品が同梱されておりますのでご確認ください。

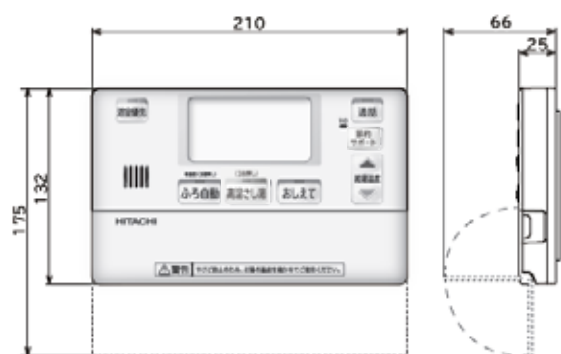
- 保証書
- 取扱説明書
- 工事説明書（本書）
- アンカーボルト施工用型紙（梱包材に印刷されています）
- 台所リモコン、ふろリモコン 各1
- 小型ボイラー設置報告書
- 小型ボイラー明細書

4. 製品外観図

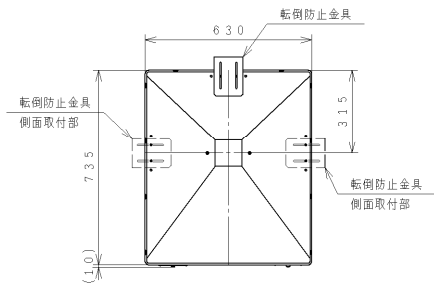
<台所リモコン外観図>



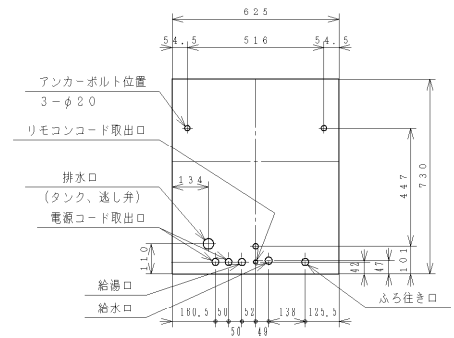
<ふろリモコン外観図>



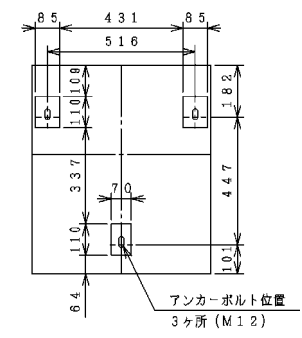
<BE-A37FWU, BE-A37FWUM, BE-A46FWU, BE-A46FWUM 外観図>



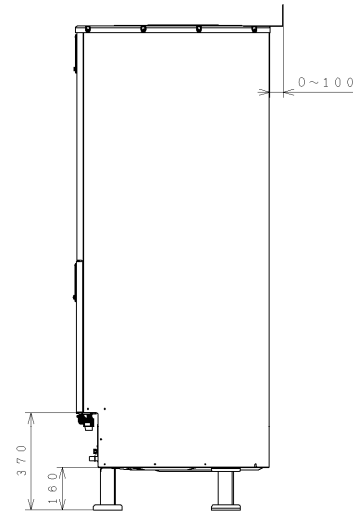
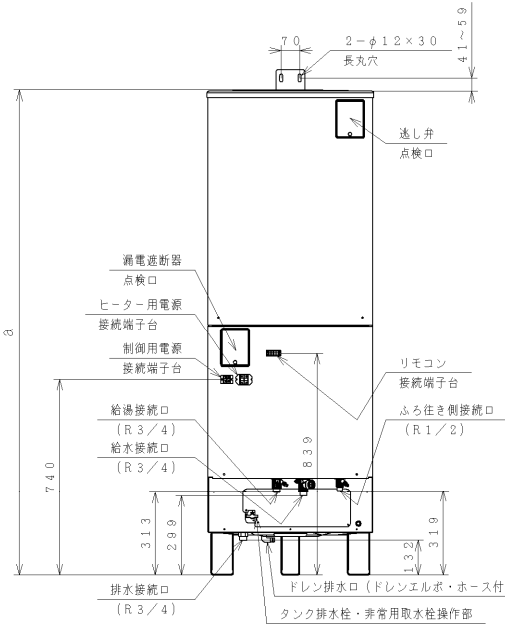
形式	a
BE-A37FWU	1835
BE-A46FWU	2165



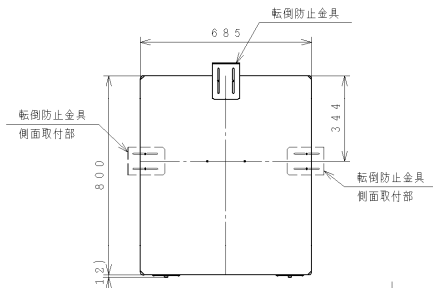
配管取出し位置図



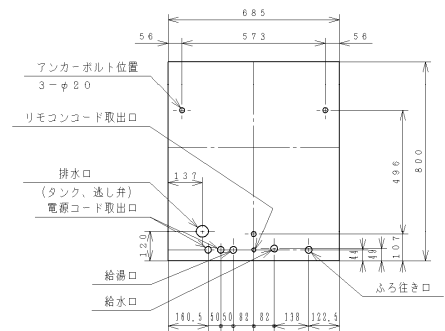
電気温水器本体脚部寸法



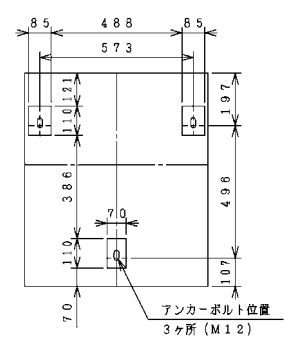
<BE-A56FWU, BE-A56FWUM 外観図>



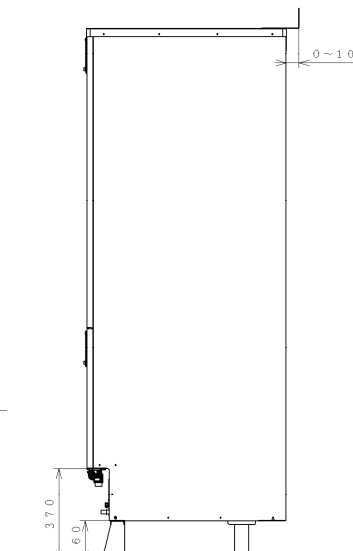
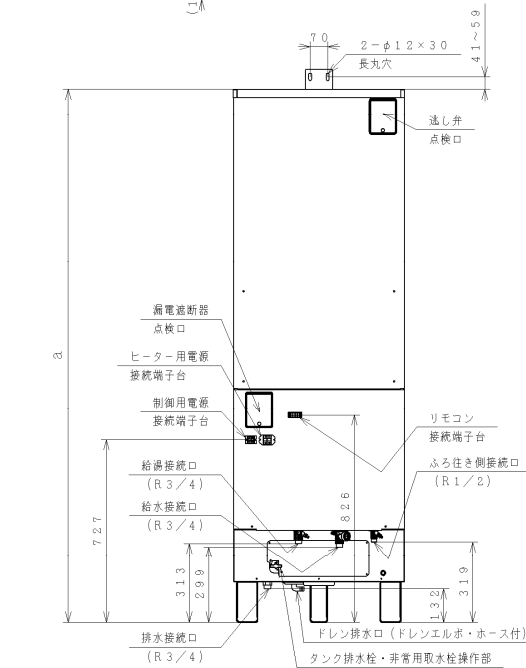
形式	a
BE-A56FWU	2182
BE-A56FWUM	



配管取出し位置図



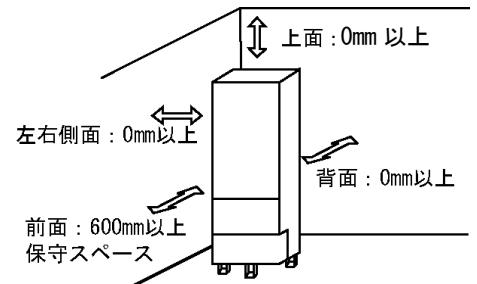
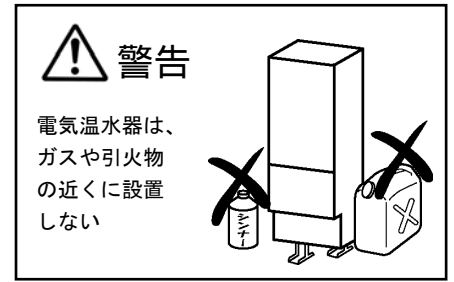
電気温水器本体脚部寸法



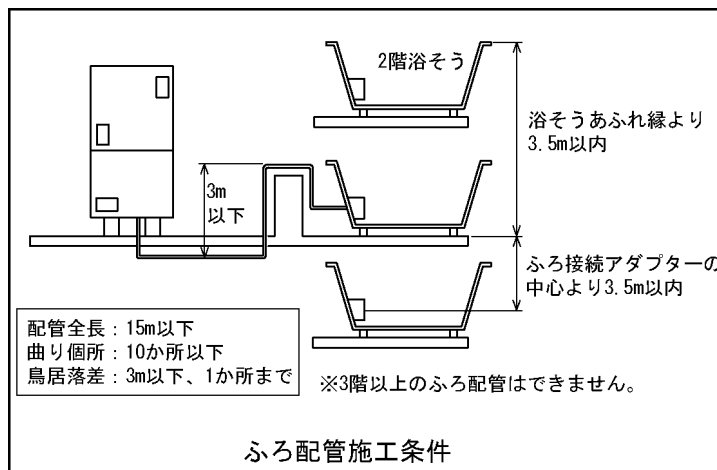
5 . 据付工事

5 - 1 据付場所の選定

- 電気温水器本体と建物のすきま寸法は、各都市の火災予防条例に従って設置してください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。
- 本体の設置場所は、配管材料を少なくし放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所の近くをお選びください。
- 排水設備のある場所に設置してください。
- 電気温水器は高温水を貯湯していますので放熱があります。室内（機械室）に据え付ける場合は、密閉室にならないよう通気口（換気口）を設け、熱がこもらないようにしてください。また、電気温水器の幅および高さ以上の出入り口を設けて搬出入が容易にできるような構造としてください。
- 浴室など湿気の多いところには設置しないでください。
- 周囲温度が -10°C 以下となる場所に設置しないでください。
- 塩害を受けやすい地区では、電気温水器周辺の雨覆い、風覆いを行ってください。
- 屋外型は雨水が集中して落下する場所、積雪で埋もれるような場所には設置しないでください。
- 屋外型は集合住宅等への設置はできません。
- 階下給湯は、電気温水器設置面より下方3.5mまでとしてください。
- 電気温水器は、水平な設置面に垂直に立てて据え付けてください。（傾斜許容限界 2/100）
- この電気温水器は、消防庁告示第一号（対象火気設備等及び火気器具類等の離隔距離に関する基準）に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は周囲 0cm 以上です。ただし、保守点検に必要なスペースは必ず確保してください。本体前方の保守スペースは 600mm 以上必要です。

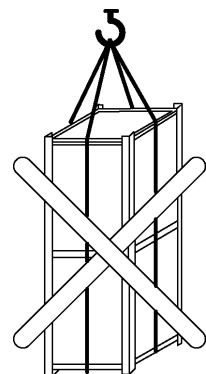


消防法基準適合組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	0	0



5 - 2 搬入

- 電気温水器を吊り上げないでください。梱包材の変形などにより、本体が破損するおそれがあります。製品を2階以上へ運搬する場合は、エレベータやロングリフト等に乗せて、転倒しないように実施してください。
- 開梱後の運搬には本体背面に設けてある取手と本体の下部の脚を使用してください。
- 本体を横にしたままで地面や物の上に置かないでください。



5 - 3 基礎工事

- 電気温水器の満水時の質量に耐える場所の選定および基礎工事をしてください。
- 電気温水器を屋内またはベランダに据付ける場合は、必ず完全な防水、排水工事を行ってください。

建物の固定部の材質	図 解	注 意 事 項
コンクリート基礎 屋 外		・コンクリートの圧縮強度は 18.0MPa 以上
コンクリートスラブ コンクリート壁など 屋 内		・コンクリートの圧縮強度は 18.0MPa 以上 ・防水堤工事を行う 防水堤は、アンカーボルトの固定、取り外しの際および配管引き回しの障害にならないよう電気温水器との隙間を十分設けてください。 ・防水処理を行う

5 - 4 電気温水器の固定

- 電気温水器の脚は地震時などの転倒防止のため、脚3か所を必ずアンカーボルトで固定してください。

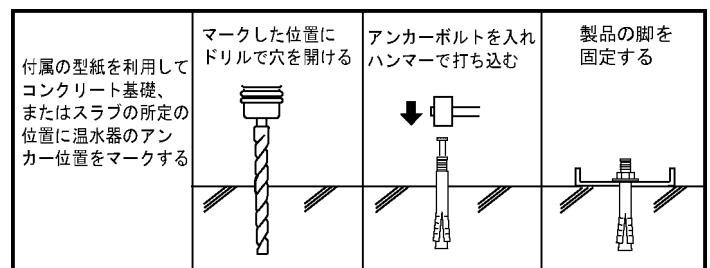
後方の脚を固定できない場合は、別売品の「脚部後方差込金具」、および次項に示す「転倒防止金具」(付属品)を使用して電気温水器を固定してください。

- 電気温水器本体上部は次項に示す「転倒防止金具」(付属品)を使用して必ず固定してください。

- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。
(芯棒打ち込み式アンカーボルトの場合)

呼び径	ドリル径 (mm)	穴深さ (mm)
M12	12.7	60

- アンカーボルトの施工例は下図を参照してください。



5 - 5 転倒防止金具の取り付け

- 電気温水器を2階以上に据付ける場合や、脚部後方差込金具で固定した場合などは、必ず転倒防止金具を取り付けてください。

- 転倒防止金具は、電気温水器上部の背面、左右のいずれかに取り付けます。

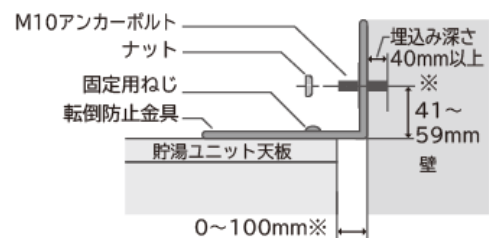
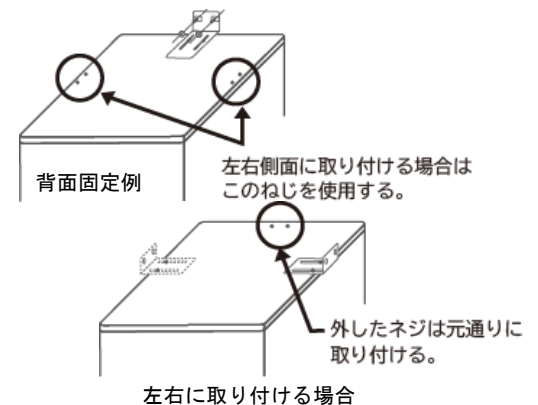
①電気温水器上面に取り付けてある転倒防止金具を外して上向きにして取り付けます。

②左右に取り付ける場合は、転倒金具を固定していたねじを元通りに取り付け、該当場所の固定ねじを外して転倒防止金具を取り付けます。

③市販のアンカーボルトを使用して、転倒防止金具を壁に固定します。

- 引張荷重 5900N 以上に耐える壁に固定してください。

- アンカーボルトは引き抜き力が 2950N 以上になる施工をしてください。



※これ以上の寸法の場合は、お問い合わせください。
特殊転倒防止金具を受注対応させていただきます。

6. 配管工事

6-1 配管工事注意事項

- 水は、必ず水道法に定められた飲料水の水质基準に適合した水道水を使用してください。
- 塩分・石灰分・イオン分、その他の不純物を多く含有する水や、純水、イオン交換水、井戸水は給水しないでください。
- 配管を施工する前に配管内のごみは、きれいに清掃し電気温水器内にごみが入らないようにしてください。
- 給排水配管、給湯配管の配管接続作業は、必ずパイプレンチ2本を使用し製品に無理な力がかからないよう十分注意してください。
- 凍結防止のため配管の保温を必ず確実にしてください。
- 配管工事用部品はシステムに適合した指定の別売品を使用してください。
- シャワー給湯栓は必ずサーモスタット式の逆止弁付き混合水栓を、その他の混合栓も必ず逆止弁付き混合水栓を取り付けてください。なお、シャワー給湯栓は構造により出湯量が極端に少ない場合がありますので、最低必要圧力、シャワーヘッドの仕様を確認して選定してください。
- 全自動洗濯機に直接給湯配管することはできません。
- 太陽熱温水器のお湯を給水管に接続しないでください。
- ふろ接続は一ヶ所のみです。二ヶ所以上の接続はできません。
- 2階等に設置して階下に給湯する場合は、「7-5 特殊配管工事」の注意事項にしたがってください。
- タンク排水管の下には必ず排水ホッパーを設けてください。必ずタンク排水管とホッパーとの間に50mm以上の空間を設け、排水管の排水が凍結した場合でも、タンク排水管を閉塞しないようにしてください。
(タンク排水(膨張水の排水)管が閉塞すると、逃し弁が動作してもタンクが破損することがあります。)
- 排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと下水ガス等が逆流して電気温水器が腐食します。
- 試運転終了後、給水接続口のストレーナを掃除してください。
- 配管用シール剤によっては揮発性ガスによりゴムなどを傷めることがあります。特に引火性のものは使用しないでください。
- 浴そうへの下り勾配配管は不可です。

ふろ接続アダプターは日立純正品をご使用ください。

6-2 使用部材

- 給水配管、給湯配管、ふろ配管、排水管は、耐食性、耐久性、耐熱性の優れた材料を使用してください。(当該水道局で材質が指定される場合は、これに従ってください。)
- 機外の給水、給湯配管は耐震性を考慮して、建物の固定配管(給水・給湯管)との接続部にフレキシブル配管を使用することをおすすめします。

場所	使用配管材	配管サイズ	施工上の注意
給水配管	耐食性を有するもの (銅管・水道用ラインゲ鋼管・水道用硬質塩ビ管)	20A (R3/4)	●点検などで排水するときに必要な電気温水器専用止水栓を取り付けてください。 ●太陽熱温水器のお湯は接続しないでください。
給湯配管	90℃以上の耐熱・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性硬質塩ビ管・架橋ポリエチレン管)	20A (R3/4)	●階下への給湯は本体設置面より下方3.5m以内です。 ●3階への給湯は手洗い程度になります。
ふろ配管	90℃以上の耐熱・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性硬質塩ビ管・架橋ポリエチレン管)	15A (R1/2)	●配管長さは下記の通りです。 ・15Aの場合、15m10曲がり以内 ・13A架橋ポリエチレン管の場合、15m10曲がり以内 ・φ12.7銅管の場合、6m5曲がり以内 ●階下へのふろ配管はできません。 ●階上設置の場合、電気温水器設置面から浴そうあふれ縁まで、上方3.5m以下にしてください。 ●鳥居配管は最大高低差3m以内で1か所としてください。 ●ふろ接続アダプターは日立純正品をご使用ください。
タンク排水管	90℃以上の耐熱・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性硬質塩ビ管)	20A以上	●沸き上げ中にタンク排水管より少量のお湯(逃し弁からの膨張水)がでますので、必ず排水工事を行ってください。 ●口径φ80以上の排水ホッパーや排水トラップを設けてください。 ●1/200以上の先下り勾配としてください。配管サイズは必ず20A以上とし、バルブは取り付けしないでください。 ●フレキ管は使用しないでください。流れが悪くなり、排水バルブの給気口より水があふれる場合があります。

6 - 3 ふろ・給湯配管工事

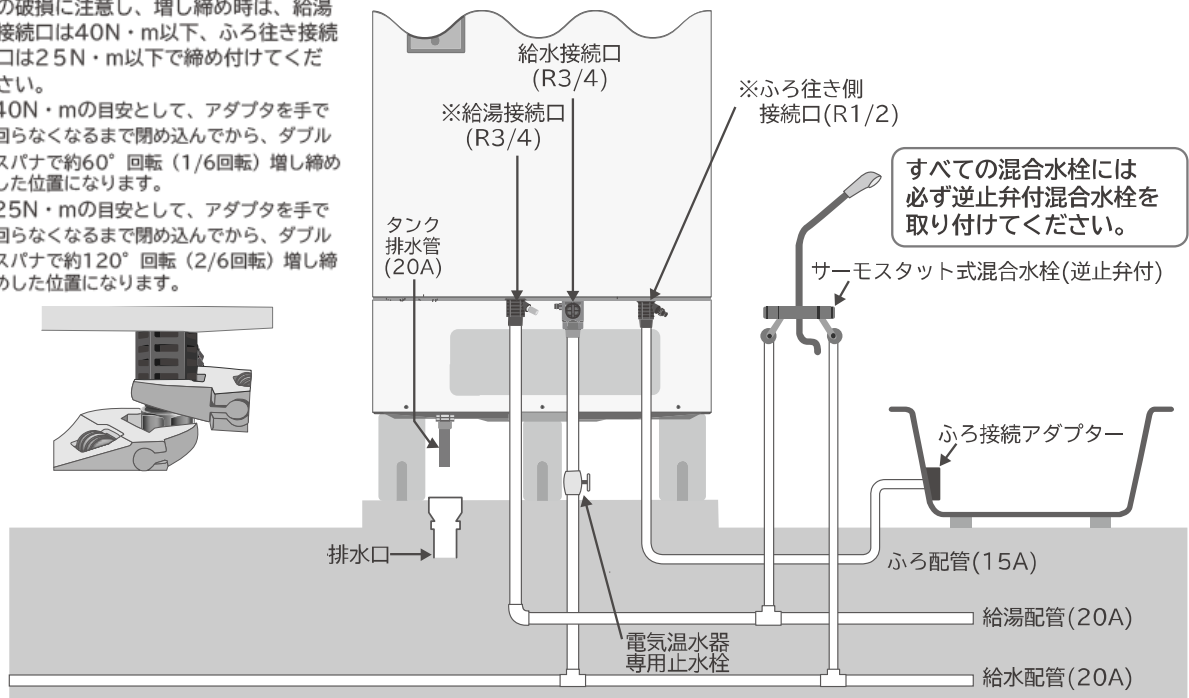
標準配管例

- 電気温水器には0.2MPa以上の給水圧が必要です。
- 電気温水器専用止水栓（現地準備品）は、下図の位置（ストレーナ付の給水接続口のすぐ下側）に取り付けるようにしてください。この位置に取り付けが難しい場合は、適宜取り付け可能な位置に取り付けてください。また、お客様に電気温水器専用止水栓の位置を必ず連絡してください。
- 沸き上げ時、逃し弁からの膨張水は排水ホースを通してタンク排水管から排水されます。タンク排水管にはバルブを付けないでください。

※給湯接続口、ふろ行き接続口は樹脂製継手です。配管接続時は配管側の継手を最初に手で仮締めするなど、ねじ山の破損に注意し、増し締め時は、給湯接続口は40N・m以下、ふろ行き接続口は25N・m以下で締め付けてください。

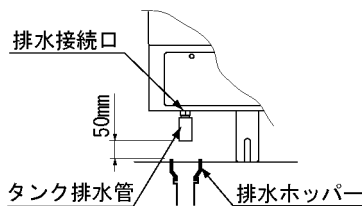
40N・mの目安として、アダプタを手で回らなくなるまで閉め込んでから、ダブルスパナで約60°回転（1/6回転）増し締めた位置になります。

25N・mの目安として、アダプタを手で回らなくなるまで閉め込んでから、ダブルスパナで約120°回転（2/6回転）増し締めた位置になります。



排水口付近詳細

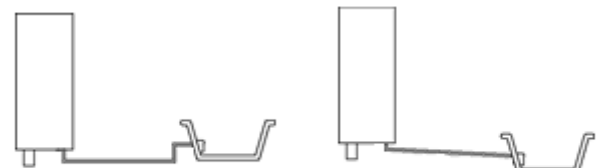
- ・タンク排水管の先端は、排水ホッパー部が凍結しても、タンク排水管が凍結しないよう排水口空間を50mm以上設けてください。
- ・タンク排水管と排水ホッパーの中心を合わせてください。



ふろ配管施工例

○ 正しい施工例

× 誤った施工例

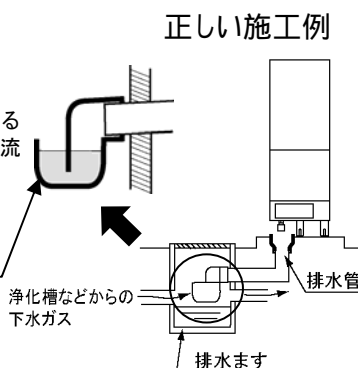


排水配管には必ず排水トラップを設置してください。

排水トラップがないと浄化槽などから下水ガスが逆流して、電気温水器が著しく腐食し故障の原因になります。

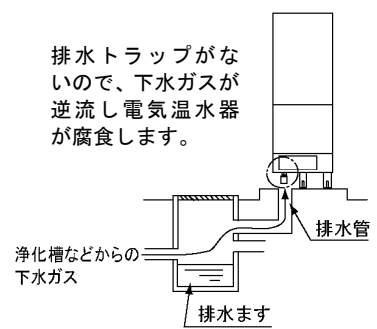
排水トラップがあるので下水ガスが逆流しません。

排水トラップ
電気温水器の膨張水により封水されます。



× 誤った施工例

排水トラップがないので、下水ガスが逆流し電気温水器が腐食します。



6 - 4 ふろ接続アダプターの取り付け

- ふろ接続アダプターは必ず日立純正別売品（高温水遮断装置付ふろ接続アダプター）をご使用ください。
- ふろ接続アダプターの取付工事については別売品付属の工事説明書に従い行ってください。

● 浴そうの穴あけ

浴そうの底部から約100~150mmの位置にφ50mmの穴を開け、パッキンの当たり面を平滑にしてください。このとき、穴の中心から45mm以内は浴そう底面の曲がりにかからない位置にし、平面部を確保してください。また、バリはきれいにとってください。(図1)

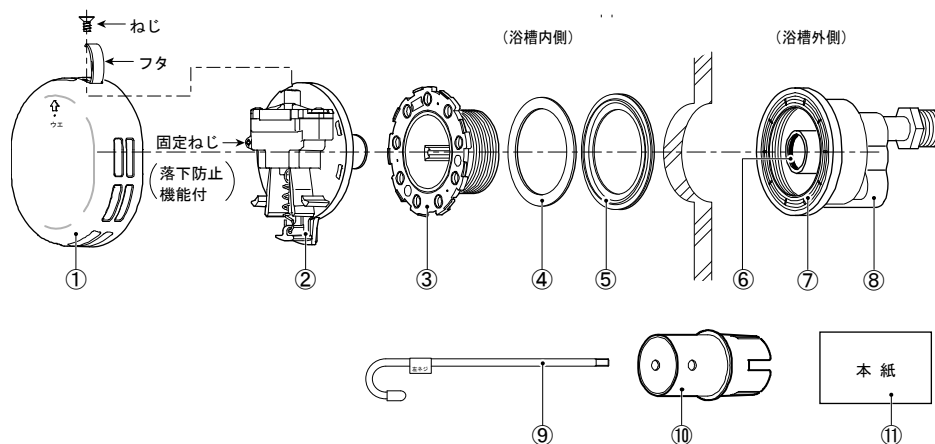
(注) 浴そうの外側に保温材があるものは、直径約80mmの範囲内を丁寧に取り除いてください。(図2)
保温材が残っているとシール性が悪くなり水漏れのおそれがあります。

(単位: mm)

(図1)

(図2)

- 取付けの前に、下記部品の数量を確認してください。
(④平シートと⑤特殊パッキンは取付けたままにしておいてください。
現地設置の際、部品の紛失を防止するため浴そうの排水栓を締めてください。)



番号	品名	数量
接続アダプター本体		
	カバー(フタ、ねじ付き)	1
	止水ユニット(固定ねじ付き)	1
	オネジ	1
	平シート	1
	特殊パッキン	1
	Oリング	1
	カプセパッキン	1
	ボディ	1
付属品		
	一人施工用フック棒	1
	締付工具	1
	取付説明書	1

※⑧ボディは型式により形状が異なります。

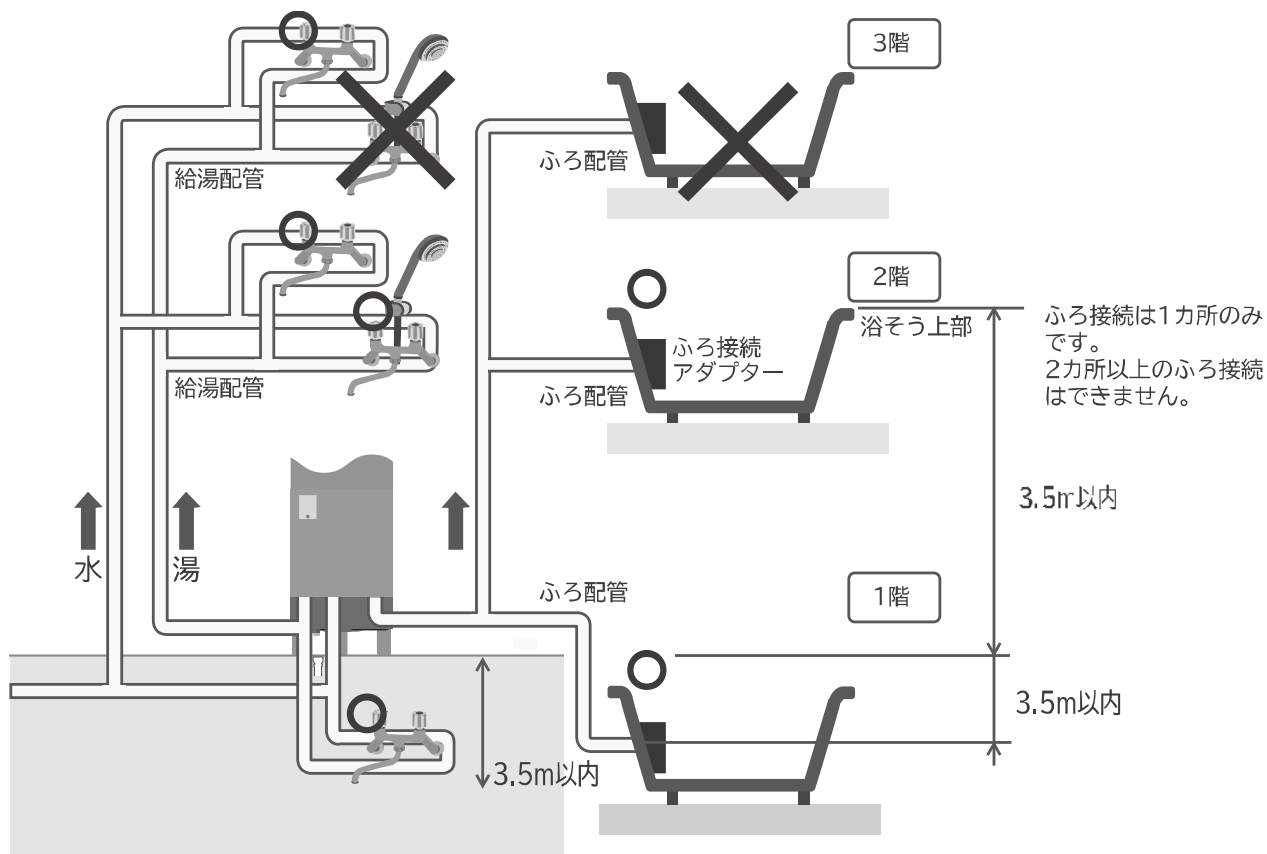
6 - 5 特殊配管工事

(1) 階上給湯の場合

- 給水圧は0.2MPa以上必要です。
- 電気温水器設置面より、浴そうあふれ縁までの高さは上方3.5mまでとしてください。
- 3階への給湯は手洗い程度です。

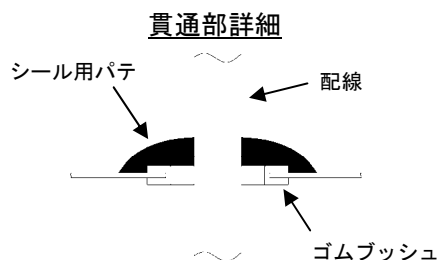
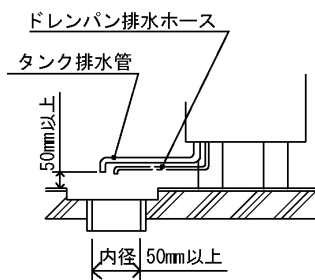
(2) 階下給湯の場合

- 電気温水器設置面より、ふろ接続アダプターまでの高さは下方3.5mまでとしてください。
- 給湯配管は電気温水器設置面より下方3.5mまでとしてください。



集合住宅（室内）に設置する場合

- 万一、タンクなどから水漏れしたとき、大きな被害につながるおそれがあります。集合住宅（室内）に設置する場合は、ドレンパン付仕様（形式の末尾に「M」がつく機種。受注生産品）を据え付けてください。
- ドレンパンに付属の排水ホースを排水管または排水溝に必ず配管してください。また、排水ホースの先端は、凍結しないように排水口空間を50mm以上設けてください。
- 配管接続部から水漏れがないことを確認してください。また、配線の貫通部をシール用パテでふさいでください。



6 - 6 凍結防止工事

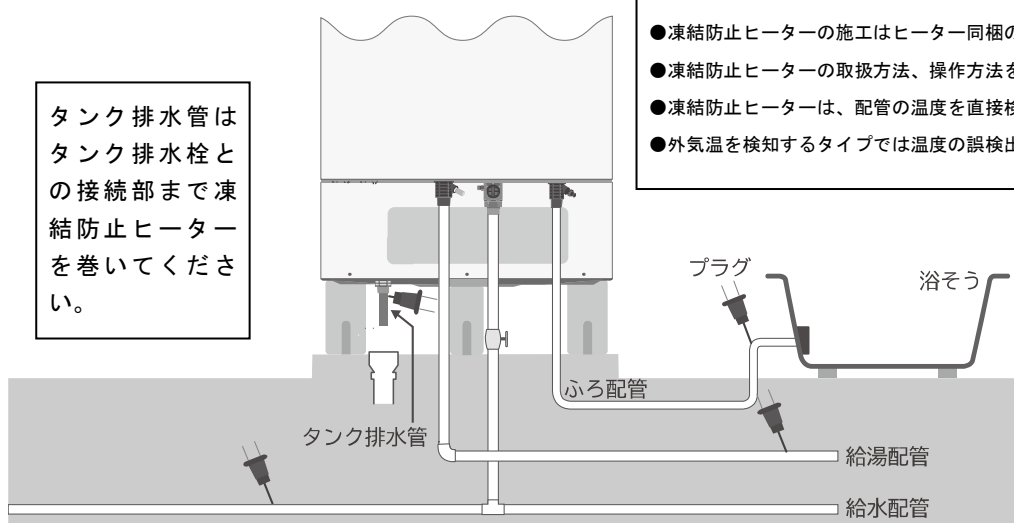
保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破裂する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

凍結防止ヒーター施工例

- 9. 項「試運転」終了後、配管の水漏れがないか確認して、凍結防止工事を行ってください。
- 使用する配管の材質にあった凍結防止ヒーターをご使用ください。
- 電圧 100V 仕様、発熱帯長さ約 0.5m (8W)～20m (200W) 相当がありますので選定して使用してください。
- 凍結のおそれのある配管部分(給水配管、給湯配管、排水配管、電気温水器専用止水栓、水抜き栓)すべてに凍結防止ヒーターを均一に巻いてください。
- 凍結防止ヒーターは配管に直接取り付け、その上に保温材を巻いてください。
- 給水配管、給湯配管は本体内部の各接続口まで巻いてください。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用します。使用数に応じて適当な位置にコンセントを設けてください。
- コンセントはヒーターコードの出口より高い位置に取り付けてください。低いと雨や水がコードをつたわりコンセントにかかるおそれがあります。

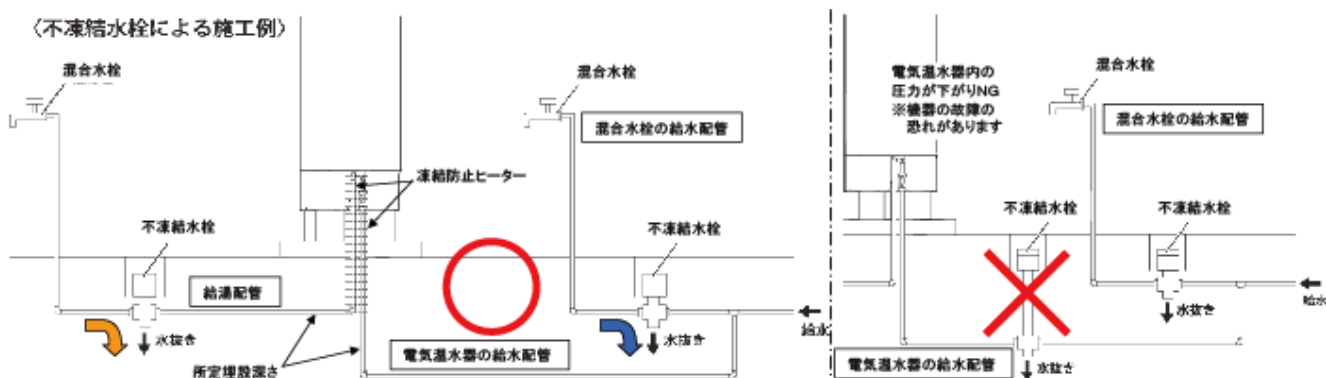
お願い

- 凍結防止ヒーターの施工はヒーター同梱の説明書に従ってください。
- 凍結防止ヒーターの取扱方法、操作方法をお客様に充分説明してください。
- 凍結防止ヒーターは、配管の温度を直接検知するタイプを使用してください。
- 外気温を検知するタイプでは温度の誤検出の可能性があります。



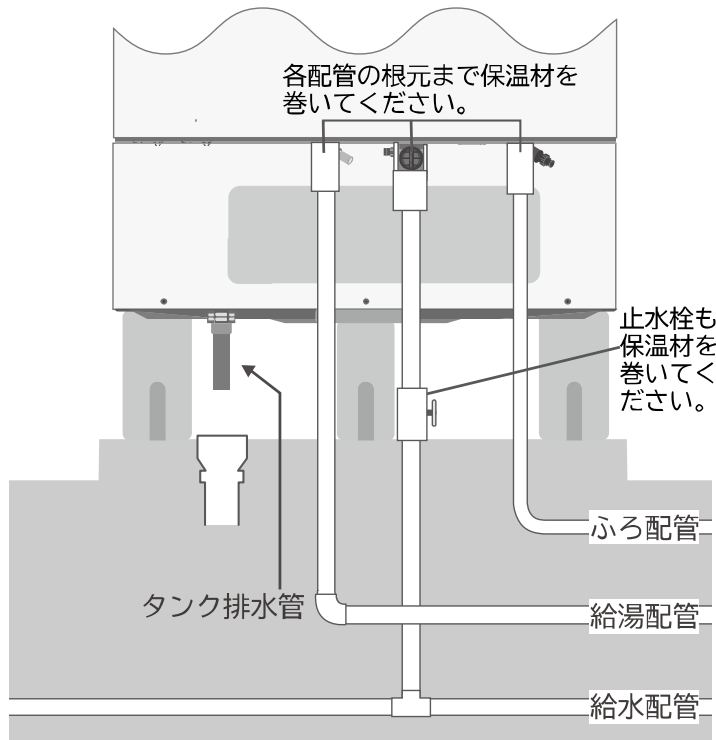
不凍結水栓による凍結予防工事

- 原則として一次側に不凍結水栓は使用しないでください。電気温水器に水道圧がかかっていないと機器が故障することがあります。凍結予防には凍結防止ヒーターをご使用ください。
- やむを得ず不凍結水栓を取り付ける場合は、電気温水器に常に水道圧がかかるようにしてください。電気温水器から不凍結水栓までの配管は凍結防止ヒーターをご使用ください。



6 - 7 配管保温工事

- 9. 項「試運転」終了後、配管の水漏れがないか確認して保温工事をしてください。
保温材の厚みは一般地 10mm 以上、寒冷地 20mm 以上とし、各水道事業者指定の厚みに従ってください。
- 給水・給湯・ふろ配管の接続継手部、タンク排水管にも必ず保温材を巻いてください。
- 保温工事をした部分は、保温材がぬれないようにカバーで囲うなど適切な防水処理を行ってください。



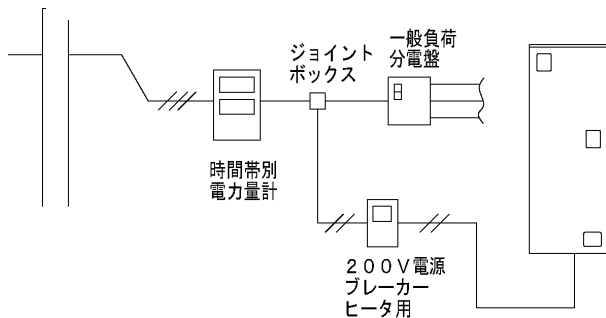
7. 電気配線工事

- 電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、指定工事業者が行ってください。
- ブレーカーの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
- 電力契約は必ず「時間帯別電灯契約」または「深夜電力契約」としてください。各契約の詳細については所轄の電力会社にお問合せください。
タンクを満水にしたこと、各止水栓が開いていることを確認後、9.項「試運転」に従って電源を入れてください。
- 保護アース(接地)工事は万一の感電事故防止のため、電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

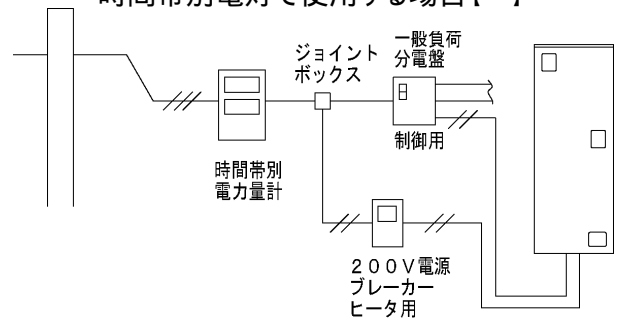
7 - 1 引込配線工事

■引き込み口から電気温水器までの回路は以下です。

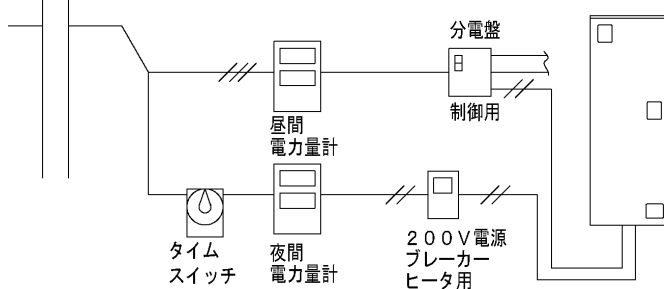
時間帯別電灯で使用する場合【 I 】



時間帯別電灯で使用する場合【 II 】



深夜電力で使用する場合



/// : 単相3線 // : 単相2線

■時間帯別電灯で使用する場合のお願い

- 【I】、【II】どちらの方法で施工するかは、所轄の電力会社の指導にしたがってください。
- 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と電気温水器を見込んだサイズにしてください。
- 電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

■ブレーカーの定格とケーブルの太さ(時間帯別電灯で使用する場合【 I 】)

形式	定格電圧	ブレーカー定格	ケーブルの太さ
BE-A37FWU, BE-A37FWUM	単相 200V	30A	5.5mm ² (φ2.6)
BE-A46FWU, BE-A46FWUM	単相 200V	40A	8.0mm ² (φ3.2)
BE-A56FWU, BE-A56FWUM	単相 200V	50A	14.0mm ² (φ4.2)

■ブレーカーの定格とケーブルの太さ(時間帯別電灯で使用する場合【 II 】または深夜電力で使用する場合)

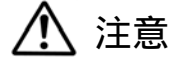
形式	定格電圧		ブレーカー定格	ケーブルの太さ
	深夜電力	単相 200V		
BE-A37FWU, BE-A37FWUM	深夜電力	単相 200V	30A	5.5mm ² (φ2.6)
	昼間電力	単相 200V	15A	φ1.6
BE-A46FWU, BE-A46FWUM	深夜電力	単相 200V	40A	8.0mm ² (φ3.2)
	昼間電力	単相 200V	15A	φ1.6
BE-A56FWU, BE-A56FWUM	深夜電力	単相 200V	50A	14.0mm ² (φ4.2)
	昼間電力	単相 200V	15A	φ1.6

※「時間帯別電灯で使用する場合【II】」および「深夜電力の場合」は、制御用電源として昼間電力 200V の配線をしてください。

7 - 2 電気温水器内部配線工事

電力の契約内容(深夜電力、時間帯別電灯)により内部配線は異なります。
電気温水器出荷時は、時間帯別電灯型【I】用に内部配線をしています。

- 各コードは必要以上にたるませないでください。
特にヒーターやタンクに触れないよう確実に離して固定してください。



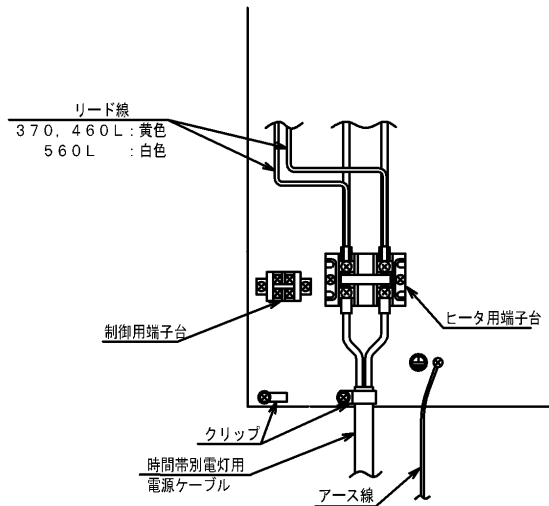
注意

電源を入れない

9. 項「試運転」の手順に従ってタンクに給水後、電源を入れてください。

・時間帯別電灯【I】で使用する場合

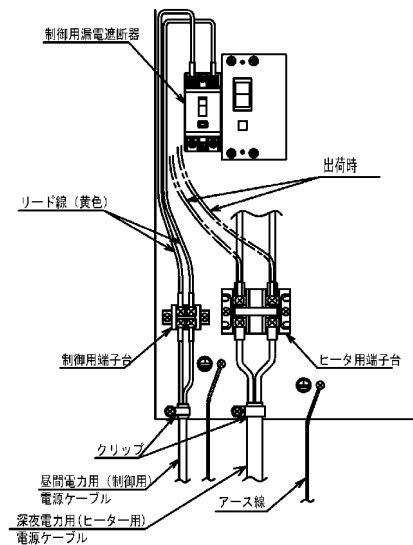
時間帯別電灯用電源ケーブルをヒーター用端子台に接続します。



・時間帯別電灯【I】で使用する場合

・深夜電力で使用する場合

- ①制御電源端子台～制御用漏電遮断器間を黄色のリード線(2本)で接続します。(※)
- ②昼間電力用(制御用)電源ケーブルを制御電源端子台に接続します。
- ③深夜電力用(ヒーター用)電源ケーブルをヒーター電源端子台に接続します。



※370L、460Lタイプはヒーター電源端子台～制御用漏電遮断器間の黄色のリード線を利用します。560Lタイプは、白色のリード線を除去し、付属の黄色のリード線を使用します。

■ ディップスイッチ初期値



(※1)タンク容量設定

タンク容量	設定	1	2
370L	ON	■	□
	OFF	□	■
460L	ON	□	■
	OFF	■	□
560L	ON	■	■
	OFF	□	□

<SW1>

1	ON	タンク容量設定
	OFF	
2	ON	タンク容量設定
	OFF	
3	ON	通常(出荷時)
	OFF	
4	ON	通常(出荷時)
	OFF	

<SW2>

1	ON	給湯高温設定 有
	OFF	給湯高温設定 無(出荷時)
2	ON	通常(出荷時)
	OFF	
3	ON	通常(出荷時)
	OFF	
4	ON	通常(出荷時)
	OFF	

7 - 3 アース(接地)工事

- 感電事故防止のため電気設備基準および内線規程に基づきD種接地工事を行ってください。
 - 水道管、ガス管への接地、および他器具類用アースとの共用はしないでください
- ①アース棒、アース線(緑色)をハンダ付けで確実に接続し、接触抵抗の変化がないように絶縁テープを巻付けます。
 - ②アース線を電源コード取り出し口から本体内に通し保護アースに接続します。
 - ③アース棒を地中深さ 30cm 以上の深さに打ち込みます。



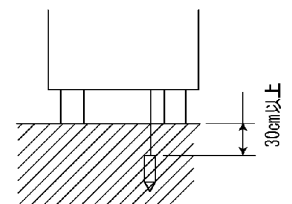
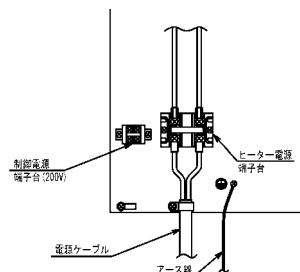
警告



必ずアース工事を行う

アース線

ヒーター容量	アース線(緑色)
4.4kW	銅線φ1.6 または 2mm ² 以上
5.4kW、6.4kW	銅線φ2.0 または 3.5mm ² 以上



8. リモコン工事

■台所リモコン、ふろリモコンの箱には、以下のものが同梱しています。

- ・木ネジ(φ3.5×25)×2本・・・台所リモコン固定用(コード露出配線時)
- ・木ネジ(φ3.5×32)×4本・・・ふろリモコン、防水カバー固定用
- ・ネジ棒大×1ヶ、ネジ棒小×1ヶ
- ・防水カバー×1ヶ、
- ・コード押さえ×1ヶ(防水カバー内)

■リモコンコードは別売りです。下記より選定してください。

- ・BERC-10M2(コード長さ10m)
- ・BERC-15M2(コード長さ15m)
- ・BERC-25M2(コード長さ25m)

(両端に接続用の端子が取り付けられています。)

■リモコンコードを現地調達される場合は長岡特殊電線製シールド付2芯ケーブル(MVVS、0.3mm²×2芯、12/0.18mm)と同等品をご使用ください。

他のコードを使用した場合、ノイズによる通信不良が発生する原因になります。

■リモコン取付工事は、専門の技術が必要です。販売店または工事店が行ってください。

■リモコンコードの接続は、200V電源通電前に行ってください。

■電気温水器までの配線長さは30m以下としてください。

■リモコンコードは、電源ケーブル、アース線および他機種のリモコンケーブルと離して配線してください。ノイズによる誤作動およびリモコンのスピーカーからノイズ音が発生する原因になります。

■リモコンは他の電子機器と十分離して設置してください。インターホン使用時に雑音が入ることがあります。特にドアホンには注意してください。

■台所リモコン、ふろリモコンは凹凸のあるところに取付けないでください。

■台所リモコン、ふろリモコンにはインターホン機能があります。シャワーやテレビの近くには取付けないでください。雑音の大きい場所では通話が途切れる場合があります。

8 - 1 台所リモコン工事

(1) 取り付け場所の選定

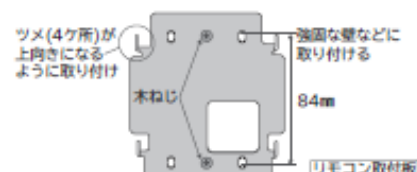
- 台所リモコンはボタン操作が容易に行え、表示が目の高さよりやや低い位置になるよう取り付けてください。
- 台所リモコンは防水タイプではありません。湿気の多いところ、蒸気や水しぶきのかかるところは避けてください。また、調理器のそばや直射日光の当たるところに取り付けないでください。
- 台所リモコンの取付面が金属の場合、リモコンコードのY型端子が金属面と接触しないよう注意してください。

(2) 壁面に取り付ける場合(コード露出配線)

①リモコン取付板のツメが上向きになるように、木ねじ(φ3.5×25)2本で壁に取り付けてください。

(注意) ボタンが操作できなくなる場合があります。

- ・リモコン取付板を壁に固定するときは、木ねじの頭が浮かないように、しっかりねじ込んでください。
- ・クロスなどのやわらかい壁にリモコン取付板を取り付ける際は、取付板を木ねじで締めすぎないでください。締めすぎるとリモコン取付板が湾曲する場合があります。
- ・凹凸のあるところには、取り付けないでください。



②コードの接続

リモコンコードを端子台に接続します。(極性はありません。) ケーブル口より引き出してください。

③リモコンの取り付け

リモコンケース裏面の差し込み口に、リモコン取付板のツメを引っ掛けます。

少し強くカチッと音がするまで、リモコンを下方にスライドさせ、リモコン取付板に固定してください。

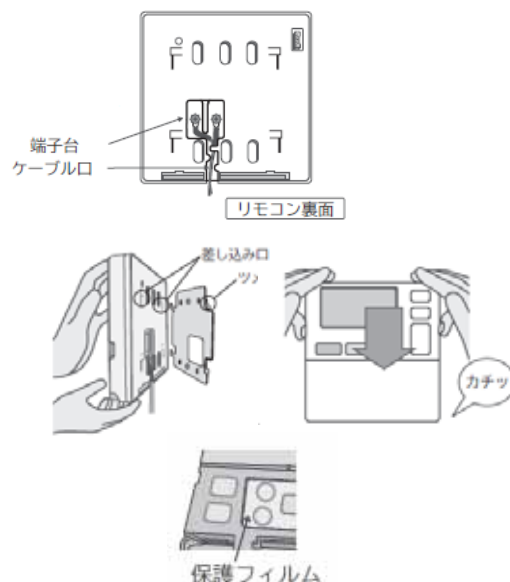
(注意) 台所リモコンへの配線がリモコン取付板と台所リモコン本体の間に挟まらないように注意してください。

④コードの配線と固定

リモコンコードを壁に固定して電気温水器まで配線します。

⑤保護フィルムをはがす。

台所リモコンのふたを開き、ボタン部の保護フィルムをはがしてください。



(3) コード埋込配線の場合

①スイッチボックスに取り付け

リモコン取り付け位置に埋込用スイッチボックス（JIS 1 個用）及び電線管を取り付けてください。

（注意）リモコンコードは、結露水などの水滴がリモコン内に侵入しないよう、必ず下方にたるみを設けてください。

②コードの配線と固定

リモコンコードを電線管を通して、電気温水器まで配線します。

③リモコン取付板の固定

リモコン取付板のツメが上向きになるように、スイッチボックスのねじ穴にあわせ、Mネジ（現地準備品）2本で固定してください。



④コードの接続

リモコンコードを端子台に接続します。（極性はありません。）ケーブル口より引き出してください。

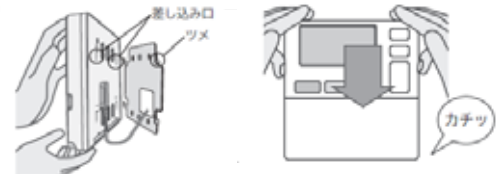
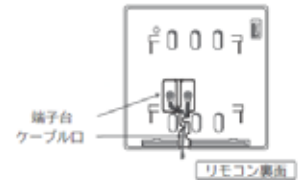
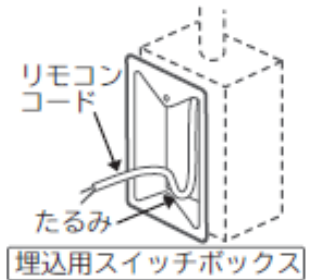
⑤リモコンの取り付け

リモコンケースの裏面の差し込み口に、リモコン取付板のツメを引っ掛けます。少し強くカチッと音がするまで、リモコンを下方にスライドさせ、リモコン取付板に固定してください。

（注意）台所リモコンへの配線がリモコン取付板と台所リモコン本体の間に挟まらないように注意してください。

⑥保護フィルムをはがす。

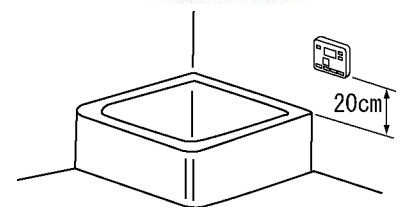
台所リモコンのふたを開き、ボタン部の保護フィルムをはがしてください。



8 - 2 ふろリモコン工事

(1) 取り付け場所の選定

- 入浴する際にお湯がかかったりすることのない位置を選んでください。浴そうから20cm ぐらい上の位置が適当です。
- 浴室外のふろリモコン先端の防水カバー取り付け場所は雨水、飛水のかからない乾燥した場所で、機器の排熱を受けない場所を選んでください。



(2) 化粧キャップの取り外し

- ①ふろリモコンの扉を開くと、リモコン固定用ネジ部に化粧キャップが取り付けられています。（左右各1ヶ所）
- ②上面を押してケース溝から上側のツメをはずす。
- ③上面を押しながら外へずらす。



(3) 浴室外貫通配線の工事

浴室内の作業

①壁面の加工

- I. 貫通穴をあける
- II. リモコン取付用ネジ（ $\phi 3.5 \times 32$ ）の下穴をあける。

②ネジ棒の取り付け

リード線をネジ棒大に通し、ネジ棒大をリモコンネジ部に差し込む

③リモコンの取り付け

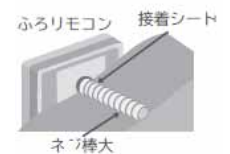
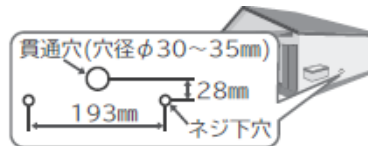
- I. リモコン背面の接着シートのセパレート紙をはがし、浴室壁面に接着します。
- II. ふろリモコンと浴室の壁面の隙間を全周コーキングやパテでふさぎます。

（注意）ふろリモコンと浴室壁面には水が浸入しないよう、全周しっかりとコーキングやパテでふさいでください。

④リモコンの固定

ふろリモコンの扉を開き、付属の木ネジ（ $\phi 3.5 \times 32$ ）2本で固定します。

（注意）木ネジの締め付けすぎに注意してください。締めすぎるとリモコンの破損や、ボタンの操作の不具合の原因になります。

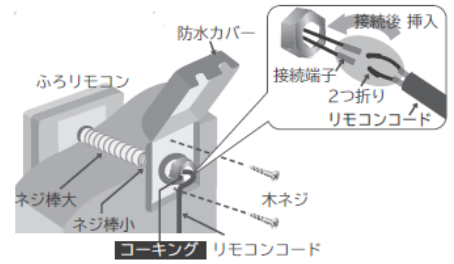


浴室外の作業

⑤防水カバーの取り付け

- I. 壁貫通穴の隙間をコーキングやパテでふさぐ
- II. リモコンを防水カバー、ネジ棒小に通しネジ棒小をネジ棒大にねじ込む（時計回り）
- III. 防水カバーを浴室外壁に付属の木ネジ（φ3.5×32）2本で固定する。

（注意）ネジ棒小の締め付けすぎに注意してください。締め付けすぎるとネジ棒小が破損する場合があります。



⑥コードの接続

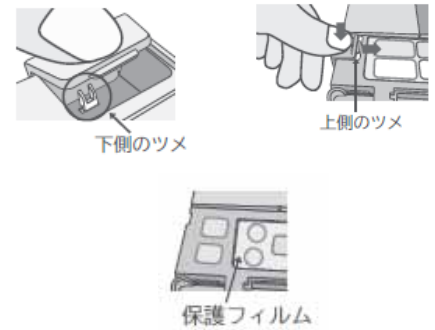
- I. リモコンコードを適切な長さで切断（端子部分を切断）する。
- II. 被膜を先端から約7mmむく。
- III. ふろリモコンから出ているリード線と接続し、端子と圧着する。
- IV. 接続端子、リモコンコードをネジ棒小の中に入れる。
- V. ネジ棒小の穴をコーキングやパテでふさぐ。
- VI. 防水カバーのフタをする。

（注意）リモコンコードは、結露水などの水滴がリモコン内に侵入しないよう、必ず下方にたるみを設けてください。

（4）化粧キャップの取り付けと保護フィルムのはがし

- ①化粧キャップの下側のツメをリモコンの穴に差し込みます。
- ②上面を押しながら上側のツメをはめ込みます。
- ③ボタン部の保護フィルムをはがします。

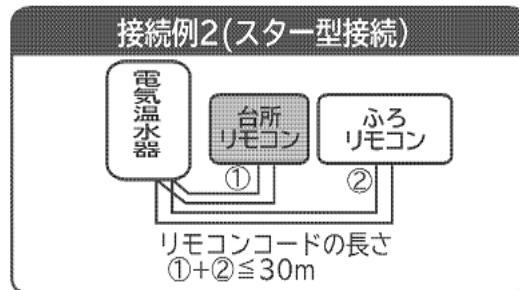
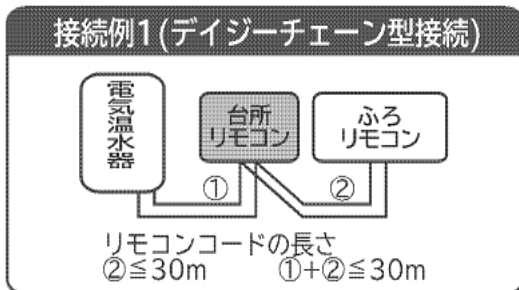
（注意）化粧キャップの取り外し、取り付け時は、ドライバーなどの工具を使用しないでください。ケースに傷がつきます。また、力を加えすぎると、破損することがあります。



8 - 3 電気温水器との接続

リモコンコードの配線長の制約範囲で取り付け、接続してください。

- 具体的な配線長の制約を接続例毎に示します。



リモコン配線注意点

- リモコンコードは、束ねたりせず、極力短くしてください。ノイズによる誤作動の原因となります。
- スター配線の場合、台所リモコンコードとふろリモコンコードを寄り合わせしないでください。

9 . 試 運 転

据付工事および附帯工事が完了しましたら、お客様にも立会っていただき試運転を行ってください。運転操作はもとより誤操作の注意などよく説明し、理解を深めていただくようにしてください。

- 深夜電力契約の場合は、電力会社の了解を得てタイムスイッチを通電状態にしてください。
- 台所リモコン、ふろリモコンの操作は取扱説明書を参照してください。

9 - 1 タンクを満水にする

- ①すべての混合水栓が閉じていることを確認してください。
- ②電気温水器のタンク排水栓、水抜き栓を閉じてください。
- ③逃し弁のレバーを開いてください。(レバーを上げる)
- ④5分間給水した後、タンク専用止水栓(現地準備品)を閉じてください。
- ⑤ストレーナをマイナスドライバー等ではずし清掃します。
- ⑥再度、電気温水器専用止水栓(現地準備品)を開き、タンクへ給水します。
排水管から水が出てきたら満水です。(満水になるまで約30~50分)
- ⑦逃し弁のレバーを閉じます。(レバーを下げる)
排水管からの排水が止まります。
- ⑧混合水栓のお湯側を全開にして配管のエアを抜きます。
配管接続の各部分および逃し弁、減圧弁、ふる接続アダプターから水漏れがないか十分点検してください。



9 - 2 電源を入れる

- ①200Vの元電源ブレーカーを「入」にします。
- ②電気温水器の電源スイッチ2ヶ所を「入」にし、テストボタンを押して動作確認をします。
「入」になっていた電源スイッチが「切」になれば正常です。
確認が終わったら電源スイッチを「入」に戻してください。
- ③電源スイッチ2ヶ所を「入」にすると、台所リモコンに「セルフチェック中です。しばらくお待ちください」を表示します。



警告



アースが接地されていることを確認する。

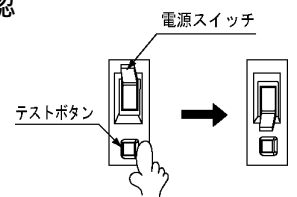


警告

漏電遮断器の動作確認をする。

漏電遮断器の動作確認

電源スイッチを「入」にして、テストボタンを押したときに「切」になれば正常です。「入」に戻してください。



- ④台所リモコンに「試運転ナビ する しない」を表示します。



試運転ナビを使用して試運転を行う場合は「する」を、手動で試運転を行う場合は「しない」を選択してください。

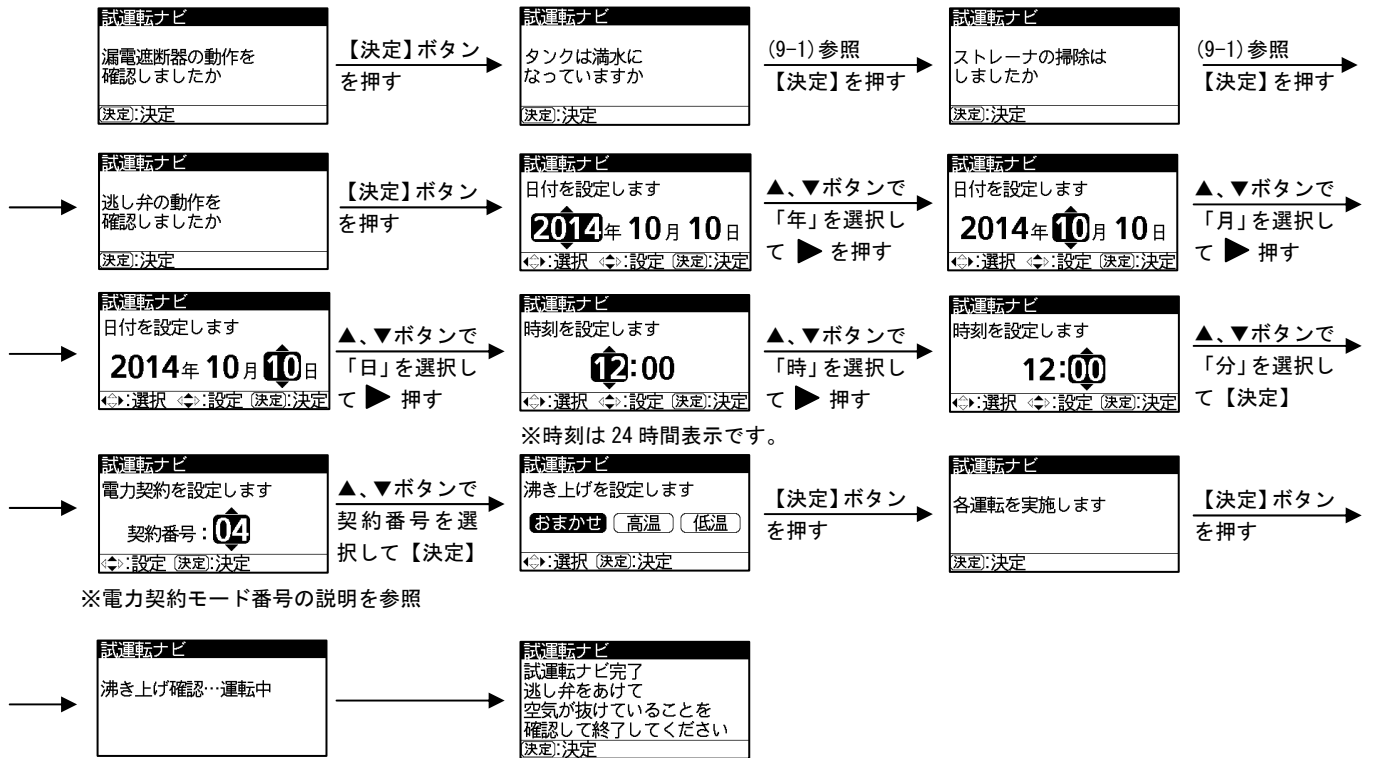
- ⑤試運転ナビを使用する場合は9-3項へ、使用しない場合は、9-4項へ進んでください。

9 - 3 試運転ナビによる試運転手順

試運転ナビ(ナビゲーション)は、以下の順番で進んでいきます。

台所リモコンに表示する確認事項と試運転を行ってください。(所要時間 50~60 分)

- ・ 試運転ナビの前に 9-1 項、9-2 項を必ず行ってください。
- ・ 試運転ナビは台所リモコンのみで行います。
- ・ 試運転を完了していない場合、試運転ナビの途中で電源スイッチを「切」にすると、再度「入」にした場合、試運転ナビの最初に戻ります。(漏電遮断器の作動確認をするため、テストボタンを押し「切」にした場合も、再度「入」にした際に試運転ナビの最初の画面に戻ります。)
- ・ 試運転ナビ中は給湯、ふろ自動は使用しないでください。



正常終了すると、完了画面になります。

注意) 試運転ナビ終了後は、継続して沸き上げ運転を行います。沸き上げ設定、タンク沸き増し、湯切れ防止設定に関わらず継続してタンク全量沸き上げ運転を行います。(使用休止を設定してもタンク全量を沸き上げます)。

沸き上げ確認を停止する場合

台所リモコンに右の画面が表示された場合、

下記の手順に従って、再度、試運転を行ってください。

①電源を「切」にしてください。

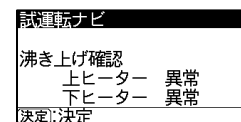
②タンクが満水か確認してください。

また、温度過昇防止器が作動していないか確認してください。

③9-1 項「タンクを満水にする」を再度、行ってください。

④電源を「入」にします。

台所リモコンに「セルフチェック中です。しばらくお待ちください」を表示しますので、再度、試運転ナビによる試運転を行ってください。



電力契約モード番号と時間帯概要 (2014年7月現在)

- ・ 契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合せください。
- ・ 契約している電力制度が「深夜電力契約」の場合、電力契約モードは出荷時設定から変更する必要はありません。
- ・ Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

電力会社	時間帯別電灯契約の名称	契約番号	契約番号	時間帯の名称
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 22時～6時)	07	00	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 23時～7時)	08	01	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	ドリーム8、ドリーム8エコ (深夜時間帯 24時～8時)	09	02	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
東北電力	eタイム3	12	03	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	やりくりナイト8	00	04	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	ピークシフト季節別時間帯別電灯	10	05	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
東京電力	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06	06	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	おトクなナイト8	00	07	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	電化上手	02	08	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
中部電力	おトクなナイト10	06	09	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	タイムプラン	00	10	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	Eライフプラン	04	11	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
北陸電力	エルフナイト8	00	12	深夜時間帯 Aゾーン / 昼間時間帯 Bゾーン
	エルフナイト10プラス	05		
	エルフナイト10	06		
関西電力	時間帯別電灯	00		
	はぴeタイム	02		
	季時別電灯PS	10		
中国電力	エコノミーナイト	01		
	ファミリータイム	03		
	電化Deナイト、得トクナイト	00		
四国電力	ピークシフト型時間帯別電灯	10		
	時間帯別電灯 (8時間型)	00		
	季時別電灯	05		
九州電力	時間帯別電灯	06		
	ピークシフト電灯	11		
	時間帯別電灯	00		
沖縄電力	Eeらいふ	02		

9 - 4 手動操作による試運転手順

手動で試運転を行う場合は、下記の順番で試運転を行います。

- (1) 一括設定
- (2) 沸き上げ確認
- (3) 販売店名の入力

9-4-1 一括設定

一括設定は、台所リモコン・ふろリモコンのどちらでも操作できます。

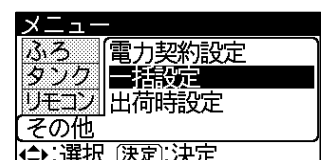
- 湯はり完了音設定・・・湯はり完了時の完了音を選択します
- 電力契約設定・・・お客様の契約にあった番号を設定します
- 沸き上げ設定・・・お湯の使用量にあった設定にします
- 湯切れ防止／節約設定・・・自動沸き増しをするか、しないかを設定します
- 音声ガイド設定・・・リモコンの音声ガイドに関する設定です
- ガイド・操作音量設定・・・リモコンの音量に関する設定です
- 日付／時刻設定・・・電気温水器が適切な時間に運転するための設定です

① 「一括設定」の起動

リモコンの扉を開き、[メニュー]ボタンを押す。

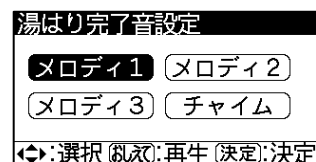
◀▶ ボタンで「その他」「一括設定」を選択し、[決定]ボタンを押す。

⇒ 「湯はり完了音設定」



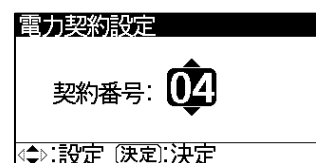
②湯はり完了音設定

- ◀▶ ボタンで、「完了音」を選択し、[決定]を押す。
⇒「自動洗浄設定」の入力画面になります。
- [おしえて]を押すと選択した完了音を再生します。
お客様に実際に完了音を聞いていただいて選択してください。



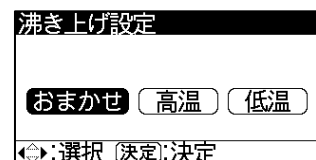
③電力契約設定

- ◀▶ ボタンで、「契約番号」をあわせ、[決定]を押す。
⇒「沸き上げ設定」の入力画面になります。
- 「電力会社別契約番号」を参照し、番号を入力します。
正しく設定されていない場合、電力料金が割高になる場合があります。この番号は日立固有の番号です。



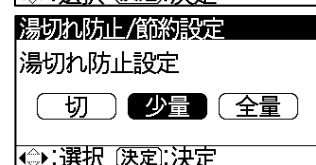
④沸き上げ設定

- ◀▶ ボタンで、「沸き上げモード」をあわせ、[決定]を押す。
⇒「湯切れ防止設定/節約設定」画面になります。
- タンクの沸き上げモードです。



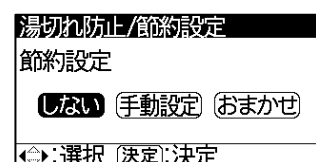
⑤湯切れ防止設定

- ◀▶ ボタンで、「沸き上げ量」をあわせ、[決定]を押す。
⇒「節約設定」画面になります。
- タンクの湯切れ時（昼間）に沸き上げるお湯の量を設定します、お客様のご希望がない場合は「少量」に設定します。



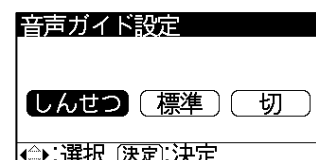
⑥節約設定

- ◀▶ ボタンで、「しない」にあわせ、[決定]を押す。
⇒「音声ガイド設定」画面になります。
- ご使用開始時はお湯の使用量がわからないので湯切れ防止のため「しない」に設定してください。
しばらくお使いになってから設定を見直すようお願いしてください。



⑦音声ガイドの設定

- ◀▶ ボタンであわせ、[決定]を押す。
⇒「ガイド・操作音量」の入力画面になります
- 「しんせつ」はリモコンの操作方法などのガイドが音声でアナウンスされます。



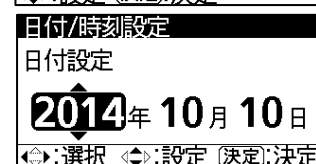
⑧ガイド・操作音量設定

- ◀▶ ボタンで、「音量」をあわせ、[決定]を押す。
⇒「日付設定」の入力画面になります。
- お客様に実際の音量を聞いていただいて設定してください。



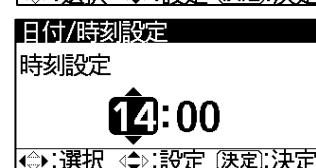
⑨日付設定

- ◀▶ ボタンで、「年月日」を選択後、[決定]を押す。
⇒「時刻設定」の入力画面になります。
- 今日の日付を設定します。電源が切れても記憶しています。



⑩時刻設定

- ◀▶ ボタンで、「時分」を選択後、[決定]を押す。
- 現在時刻は24時間表示です。
- 時刻を正確に設定します。タンクの沸き上げ開始時刻やふろ予約など、時刻が関連する機能全てがこの設定を基準に動作します。
- 電源が切れても記憶しています。



9-4-2 沸き上げ確認

- ①台所リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押してください。
- ②[タンク沸き増し]ボタンが点灯し、画面右下に「沸き上げ中」が表示されます
- ③リモコンの画面で、沸き上げ状態が約 20 分監視し、沸き上げが継続されていれば正常です。

※据付直後は契約電力が「時間帯別電灯契約」か「深夜電力契約」のどちらであるか自動判断するために、沸き上げ設定、タンク沸き増し、湯切れ防止設定に関わらず継続してタンク全量沸き上げ運転を行います。(使用休止を設定してもタンク全量を沸き上げます)。

沸き上げを開始しないまたは停止する場合

台所リモコンに【Er04】が表示される場合は、タンクが満水になっていません。9-1 項に従って、タンクを満水にしてください。

また、【Er74】【Er75】が表示される場合は、温度過昇防止器が作動しています。温度過昇防止器の作動を解除してください。

9-4-3 販売店名の入力

販売店の登録を行うと、機器の故障などでリモコンに点検表示が表示された際に、登録した販売店名と電話番号がリモコンに表示されます。

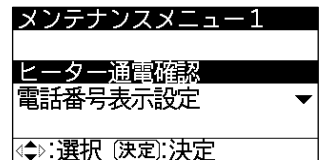
①メンテナンスメニューを起動する

台所リモコンまたはふろリモコンの扉を開いて[メニュー]ボタンを押す。

⇒「メニュー」画面に変わります。

「メニュー」画面表示中に[◀]ボタンを5秒押し続ける。

⇒リモコンの画面が「メンテナンスメニュー」画面に変わります。



②機能の選択

[▼]ボタンを押し、[電話番号表示設定]を選択後、[決定]を押す

⇒「設定選択」画面に変わります。

③表示の選択

[▲▼]ボタンで表示する内容を選択し、「決定」ボタンを押す。

- しない・・表示しません。

⇒「設定完了」画面に変わります。

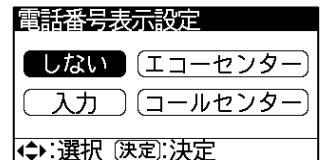
- 入力・・・販売店名と電話番号を入力した内容が表示されます。④へ

⇒「販売店名入力」画面に変わります。

- エコセンター・0120-312-168 が表示されます。

- コールセンター・0120-649-020 が表示されます。

⇒「設定完了」画面に変わります。



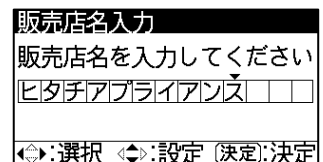
④販売店名の入力

[◀▶]で入力場所を選択し、[▲▼]ボタンで文字を選択する。

[▲▼]ボタンを長押しすると5文字進みます。

入力が完了したら、[決定]ボタンを押します。

⇒「電話番号入力」画面に変わります。

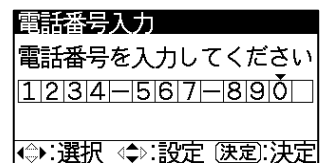


⑤電話番号の入力

[◀▶]で入力場所を選択し、[▲▼]ボタンで数字を選択する。

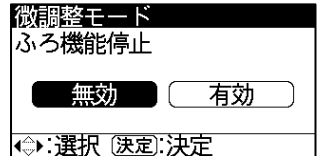
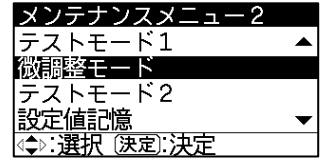
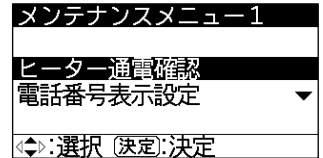
入力が完了したら、[決定]ボタンを押します。

⇒「設定完了」画面に変わります。画面に表示される電話番号を確認してください。



9-4-4 ふろ配管工事が後日の場合

- ① メンテナンスメニューを起動する
台所リモコンまたはふろリモコンの扉を開いて[メニュー]ボタンを押す。
⇒「メニュー」画面に変わります。
「メニュー」画面表示中に[◀]ボタンを5秒押し続ける。
⇒リモコンの画面が「メンテナンスメニュー」画面に変わります。
- ② 機能の選択
[▼]ボタンを押し、[微調整モード]を選択し、[決定]ボタンを押す。
⇒「微調整モード」画面に変わります。
- ③ 番号の選択
[決定]ボタンを5回押し、ふろ機能停止を表示する。
- ④ 設定の選択と終了
[◀▶]で「有効」を選択し[決定]を押す。
⇒次の項目の画面に変わります。
次の項目の画面に変わったら、「戻る」ボタンを押す。
⇒「メンテナンスメニュー」画面に変わります。
「メニュー」または「戻る」ボタンを押す。
⇒「標準画面」に変わります。



<お願い>

本機能はふろ配管工事が完了するまでの間、給湯専用機として使用するためのものです。ふろ配管完了後は、同様の手順で「ふろ機能停止」を「無効」としてごください。また、本機は、セミオートタイプであり、恒久的に給湯専用機としては使用しないでください。

9 - 5 正常動作の確認とお客さまへの説明

取扱説明書を使用して、下記の確認を進めながらお客さまに説明してください。

- ①各混合水栓を開いて流量が充分あるか確認してください。お湯の使いはじめや入浴時は必ずお湯の温度を指先などで確かめていただくようお願いしてください。
- ②台所リモコン、ふろリモコンの動作を確認してください。
リモコン設定項目を、お客様と相談して適切に設定してください。
(沸き上げ温度、給湯温度、ふろ温度、ふろ水位など)
給湯温度が「低温」になっている場合は、「低温」以外の設定にしてください。
- ③現地施工の電気温水器専用止水栓の位置と操作方法を説明してください。
また、断水時には機器保護のため電気温水器専用止水栓を閉じるようお願いしてください。
- ④タンクの排水方法を実際に行って説明してください。製品の配管施工状態や脚カバーが取付けられている場合について説明してください。
- ⑤逃し弁の機能と点検方法を実際に行って説明してください。また、排水栓を閉めていても、沸き上げ中はタンク排水管より少量の膨張水を排出することを説明してください。
- ⑥漏電遮断器の動作確認方法を実際に行って説明してください。

これだけはお客さまに説明してください

- 工事説明書に基づいた工事が行われると思いますが、据付条件などにより多少異なっている場合は、そのポイントを説明してください。
配管のネジ切りなどに油を使用した場合、しばらくの間、給湯専用蛇口や混合栓から油やよごれが出る心配があります。その旨説明してください。

■お願い

- 取扱説明書および工事説明書は、必ずお客様にお渡しし、保管をお願いしてください。
- 試運転後、すぐに使用しない場合は、電気温水器の電源スイッチ2ヶ所と元電源ブレーカーを「切」にし、タンクの水を完全に抜いてください。
- 凍結のおそれのある地域では、据付から入居まで期間がある場合でも電源スイッチを切らないでください。
電源を入れておくことができない場合は、10項の「水抜き要領」にしたがって、タンク内の水を完全に抜いてください。
- 本製品を長期間安心してお使いいただくために、3~4年に一度、専門技術者による定期点検を実施してください。

10. 水抜き要領

凍結のおそれのある地域で、据付から入居まで期間があり、電源を入れておくことができない場合は、以下の「水抜き手順」にしたがって、電気温水器内の水を完全に抜いてください。

①電源を「ON」

電気温水器の漏電遮断器のスイッチが「ON」になっていることを確認してください。



②タンクの設定変更

ふろリモコンで設定を「湯切れ防止 切」にしてください。

③給湯温度設定

ふろリモコンで給湯温度を「40℃」に設定してください。

④給湯配管の排水

混合水栓を開き、お湯が出なくなるまでお湯を出した後、混合水栓を閉じてください。



⑤浴そうの水を排水する

浴そう内に水が残っている場合は、排水し浴そう内を空の状態にしてください。

⑥タンクの排水をする

- 1) タンク専用止水栓を閉じる 2) 逃し弁のレバーを上げる 3) 排水栓を開いてタンク内のお湯を排水する



(タンク内のお湯が抜けるまで、約1時間から1時間半かかります)

⑦メンテナンスメニューにする

- 1) 台所リモコンまたはふろリモコンの[メニュー]ボタンを押す。

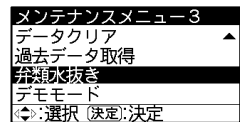
⇒「メニュー」画面に変わります。

- 2) 「メニュー」画面表示中に「◀」ボタンを5秒間押し続ける。

⇒リモコンの画面が「メンテナンスメニュー」画面に変わります。

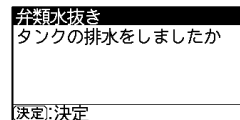
⑧弁類水抜きの起動

[▲][▼]ボタンで「弁類水抜き」を選択し、[決定]ボタンを押してください。



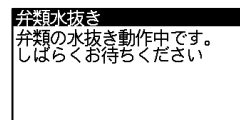
⑨タンク排水確認

タンクの排水が終わっていることが確認できたら、[決定]ボタンを押してください。



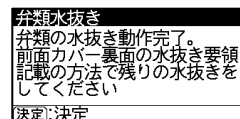
⑩弁類の水抜き動作(1)

弁類の水抜き動作を行います。水抜き動作終了後、自動で次画面を表示します。



⑪弁類水抜き動作完了

[決定]を押さずにそのまま⑫へ進んでください。



⑫電源のOFF

漏電遮断器のスイッチを「OFF」にします。

⑬配管内の水を抜く1

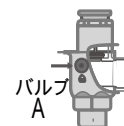
④バルブA、⑤バルブB、⑥バルブDを開いて配管内の水を全て抜いてください。

水抜きは、ビニールホース(④~⑤は現地準備品:内径8mm)を使用して、バケツ等へ排水を導いてください。



⑭配管内の水を抜く2

給水継手部⑦給水ストレーナを外し、奥にある逆止弁を六角レンチなどで上側へ押して配管内の水を抜いてください。(右図参照)

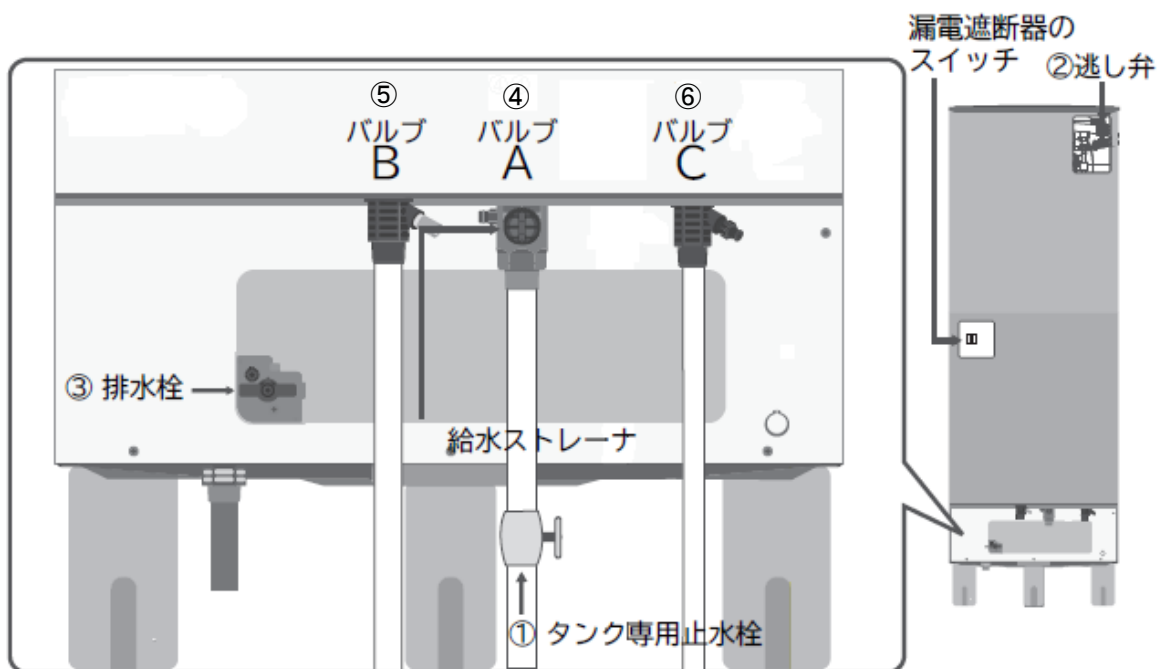


逆止弁位置(給水継手左視図)

⑮水抜き栓を閉じる

全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

- 1) ②逃し弁のレバーを下げる
- 2) ③排水栓、⑦給水ストレーナを閉じる
- 3) ④～⑥の水抜き栓をバルブの抜き栓を閉じる



~ M E M O ~

~ M E M O ~

チェックリスト

据付工事後は、下表に記載したチェック項目を確認してください。

不具合があった場合は、必ず是正してください。(機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません)

据付け環境

判定		工事説明書記載ページ
<input type="checkbox"/>	①水道水を使用していますか(井戸水は使用不可)	1
<input type="checkbox"/>	②給水圧力は0.2MPa以上ありますか.....	7
<input type="checkbox"/>	③据付場所は雨や雪が降ったとき水につかったり、積雪で埋もれたりする場所ではありませんか.....	4

据付け状態

<input type="checkbox"/>	①電気温水器の脚がアンカーボルトで正しく固定されていますか.....	5
<input type="checkbox"/>	②床面は電気温水器が満水時の重量に十分耐えますか.....	5
<input type="checkbox"/>	③電気温水器のメンテナンススペースが確保されていますか.....	4
<input type="checkbox"/>	④火気・引火物・可燃性ガスは近くにありませんか.....	4
<input type="checkbox"/>	⑤据付床面の防水、排水工事はしてありますか.....	5, 7
<input type="checkbox"/>	⑥2階以上へ設置の場合、転倒防止の為に上部は固定してありますか.....	5
<input type="checkbox"/>	⑦外板に傷、変形はないですか.....	-

配管のチェック

<input type="checkbox"/>	①気温水器専用止水栓は給水配管で操作の容易な位置に取り付けられていますか.....	7
<input type="checkbox"/>	②浴そうのふろ接続アダプターは別売純正部品が付いていますか.....	8
<input type="checkbox"/>	③排水口空間(50mm以上)を確保していますか.....	7
<input type="checkbox"/>	④給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか.....	6
<input type="checkbox"/>	⑤排水管材は90℃の温度に十分耐えるものですか.....	6
<input type="checkbox"/>	⑥接続部から水漏れはありませんか.....	17
<input type="checkbox"/>	⑦凍結防止・保温工事は適切ですか(各配管に凍結防止ヒーター・保温材は巻いてありますか).....	10
<input type="checkbox"/>	⑧配管は風雨、直射日光に対する防護がしてありますか.....	-
<input type="checkbox"/>	⑨逃し弁のレバーを手で開閉し、放水、止水が正常ですか.....	17
<input type="checkbox"/>	⑩全ての給湯栓と混合水栓をひらいて各蛇口からきれいな水が出るのを確認しましたか.....	-
<input type="checkbox"/>	⑪各水栓、給水継手部のストレーナを点検しましたか.....	17
	(ゴミが入っていると湯の出が悪くなります)	
<input type="checkbox"/>	⑫各配管は指定された配管径、配管長になっていますか.....	6
<input type="checkbox"/>	⑬配管途中に無理な配管によるツブレ、曲がりはありませんか.....	-
<input type="checkbox"/>	⑭シャワーはサーモスタット付のものが使用されていますか.....	1, 7

電気工事のチェック

判定		工事説明書記載ページ
<input type="checkbox"/>	①電源は単相 200V ですか.....	13
<input type="checkbox"/>	②電力会社との契約は時間帯別電灯契約または深夜電力契約になっていますか.....	13
<input type="checkbox"/>	③電線(ケーブル)の太さは適切ですか.....	13
<input type="checkbox"/>	④200V 電源ブレーカーは取り付けてありますか.....	13
<input type="checkbox"/>	⑤200V 電源ブレーカーの定格は十分ですか.....	13
<input type="checkbox"/>	⑥200V 端子台のねじは確実に締め付けてありますか.....	-
<input type="checkbox"/>	⑦アース(接地)工事はD種接地工事が行なっておりますか.....	14
<input type="checkbox"/>	⑧漏電遮断器の動作確認はしましたか.....	17
<input type="checkbox"/>	⑨リモコンケーブルの接続は確実ですか.....	15
<input type="checkbox"/>	⑩リモコンケーブルは電源電線に交差、近接していませんか.....	-

その他のチェック

<input type="checkbox"/>	①電気温水器を満水にしましたか.....	17
<input type="checkbox"/>	②電気温水器周辺や配管からの水漏れはないですか.....	17
<input type="checkbox"/>	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いた時、排水があふれ出ることはないですか.....	-
<input type="checkbox"/>	④正常に沸き上げを確認しましたか.....	21
<input type="checkbox"/>	⑤電力契約モードの設定はしましたか.....	21
<input type="checkbox"/>	⑥混合水栓からの流量は十分ですか.....	22
<input type="checkbox"/>	⑦漏電遮断器は切りましたか.....	22
	(試運転完了後、すぐに入居しない場合など。ただし、凍結のおそれのある場合は除く。)	
<input type="checkbox"/>	⑧試運転完了後、すぐに使用しない場合は電気温水器の水抜きを行ないましたか.....	22
<input type="checkbox"/>	⑨お客様への取扱い説明、リモコンの各種設定を実施しましたか.....	22
<input type="checkbox"/>	⑩試運転は正常に完了しましたか.....	18

<販売店様、工事店様記入>

店名		電話番号		担当者名	
----	--	------	--	------	--